

第5回草津市総合計画審議会 会議録

■日時：

令和2年1月30日（木）14時00分～16時00分

◆場所：

草津市役所2階 特大会議室（ステージ側）

■出席委員：

赤星委員、安里委員、井上委員、上野委員、角谷委員、喜田委員、木村委員、肥塚委員、小寺委員、清水委員、田中委員、塚口委員、中嶋委員、中村委員、南(英三)委員、宮城委員、宮下委員、森田委員、谷地田委員、山口委員、山下委員

■欠席委員：

宇野委員、北村委員、土山委員、三浦委員、南(弘蔵)委員、森川委員、森本委員

■事務局：

総合政策部 岡野部長、金森副部長
企画調整課 松浦課長、小川課長補佐、村上副係長、力石主査、小林主任

■傍聴者：

1名

1. 開会

- 開会にあたって、岡野総合政策部長より挨拶

- 事務局

- ・草津市総合計画審議会設置条例施行規則第5条第2項に基づき、委員の半数以上の出席という要件を満たしており審議会が成立していることを報告。
- ・配布資料の確認

2. 審議

第6次草津市総合計画 基本構想（案）について

（1）将来ビジョンについて

- 事務局

<資料1について説明>

- 委員

「人と“つながる”ことで、心も身体も健康となり」と言い切っているところに疑問を感じる。

- 事務局

人と触れ合い、心が通ずることでやる気が出て、コミュニケーションや活動が生まれ、健康になっていくと考えている。

●委員

健康になるというより、充実するのではないか。この文章だと、病気の人が人とつながったら健康になるように感じる。

●委員

悩みを感じるのも、幸せを感じるのも人とのつながりであり、そこを切り分けて、詳しく説明されてはどうか。

●会長

将来ビジョンの大まかな方向性を示す資料であり、具体的な記載とせず現行の表現とされた方が良いと考える。

(2) 将来のまちの構造について

●事務局

<資料2 P26～P28 について説明>

●委員

「まちなか・にぎわいゾーン」について、駅を中心とするという説明があるが、南草津駅が当該ゾーンの端にあるため違和感がある。

また、みどり軸は点線のみで表されているが、湖岸レクリエーション軸は点線で囲っているのはなぜか。軸という言葉のイメージから点線のみで表す方が適当ではないか。

●事務局

「駅を中心とする」は地理的な中心ではなく、都市の核となるという意味での中心という表現をしている。御意見を踏まえ、見やすくなるよう図面の修正を検討する。

また、「湖岸レクリエーション軸」は帰帆島なども含め、みどり軸よりも広範囲を示す必要があり、点線のみで表すことが難しいため、現行の表記としている。

●会長

南草津駅がゾーンの端にある件について、工夫いただきたい。

●委員

「丘陵・産業・交流ゾーン」について、産業的な視点が強い。子育て世代や高齢者の方でも住みやすいまちという印象が持てず、このまちに住みたいとは思えない。

●事務局

将来のまちの構造は、都市としての大枠を表している。市の東部では、本市唯一の工業団地が立地していることから、「産業」は大きな特徴の一つであると認識している。

●委員

将来のまちの構造の地図中にある薄い青色の矢印は必要か。どこを強調したいのか、ぼやけてしまう。まちにつながりが生まれることは、文章中の説明で十分ではないか。

●委員

総合計画で表すまちの構造としては、要素は十分に入っているのですが、より具体的な項目は個別の計画の中で記載された方が良いでしょう。また、薄い青色の矢印について、市民が意図を読み取るのは難しいと思われるので、委員の意見に賛成である。

●会長

参考にすべき御意見だと考える。

●事務局

検討する。

●委員

これから外国の方などが見ることも考えると、イラストなどを入れた方がもっとわかりやすいのではないかと思います。

●事務局

印刷製本の際には、イラストを加えるなど、見やすくなるよう工夫する。

●会長

「丘陵・産業・交流ゾーン」の名称について、当該地域の中にはびわこ文化公園都市があることから、「交流」から「文化」に変更しても良いのではないかと考えている。

●事務局

検討する。

(3) まちづくりの基本目標について

●事務局

<資料2 P29以降について説明>

●委員

SDGsには「持続可能」の視点もあり、追記すべきではないか。

●事務局

先般の特別委員会においても同様の御意見をいただいております、修正を検討している。

●委員

協働の三つ目の○の文章が分かりにくい。

●事務局

先般の特別委員会でも、「自分たち」というのが誰を指しているのか分かりにくいという御意見をいただいております、修正を検討している。

●委員

将来ビジョンの検討の中で、「つながり」がキーワードとなっているにもかかわらず、「つながり」の表記が弱いと思う。「つながり」を意識しながらではなく「つながり」を基本として、などに修正してはどうか。

●事務局

検討する。

●委員

「つながり」を作る具体的な方策として、協働やSDGsを踏まえる必要があるという流れなのではないか。今の文章の表現ではそれが伝わらない。

●委員

SDGsの17の目標のロゴをどこかに記載したほうがよいのではないか。

●事務局

ロゴについては、基本計画の中で記載させていただきたいと考えている。

●会長

将来ビジョンを受けて、つながりがメインとなるようなまちづくりの基本目標の説明が必要となるだろう。また、「社会情勢の変化」の中でSDGsの説明をしているが、ページの間隔が空いているため、当該ページでもSDGsについて説明が必要だと考える。

●委員

SDGsの17の目標と169のターゲットのすべてを記載することは難しいため、草津市に足りなかったものや注力すべきものに絞って記載してもよいのではないか。

●事務局

検討する。

●委員

「コミュニティ」について、まちづくりを担う後継者などの人材育成の視点も重要ではないか。また、SDGsの17の目標をまちづくりの基本目標ごとに分類してはどうか。

●事務局

人材育成の視点については検討する。SDGsについては、今後、各分野での施策展開等において、SDGsの目標が追加されるなど、計画期間中に変わる可能性があることから、計画期間が4年の基本計画の中で分類させていただく。

●委員

第5次草津市総合計画で進めている「協働」を引き続き進めていくのか。

●事務局

第6次草津市総合計画においても、「協働」のまちづくりを進めていく。

●委員

「協働」と「SDGs」は基本構想の中で位置付けるべきものか。基本計画の中のリーディング・プロジェクトとして位置付けるべきではないか。

●事務局

「協働」や「SDGs」はまちづくりの根底となるものであり、基本構想の中で位置付けさせていただく。

●委員

「交通」についてまちづくりの基本目標『環境・暮らし』に位置付けられているが、『活力・魅力』の要素も含まれるため、例えば「商工観光」に追記できないか。

●事務局

「交通」については、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりを進めるため、都市形成と同じ『環境・暮らし』に位置付けさせていただいた。御意見のとおり、「商工観光」と「交通」については、連携が不可欠であると考えておりますので、御意見の視点を参考にさせていただく。

●委員

「歴史・文化」について文章が大幅に短くなっている理由はなにか。

●事務局

文章の長さや記載内容について、他の分野と揃うように担当課と調整して現行の記載となった。

●委員

草津市文化振興条例の中でも「活力にあふれる地域社会を創造する」ことを謳っており「活力あふれる」は削除せず残していただきたい。

●事務局

検討する。

●委員

「男女共同参画」について、「性別に関わりなく」という言葉を追記いただきたい。

●事務局

検討する。

●委員

「学校教育」について、学校教育の充実を図るだけでなく、将来の人生へとつながっていくような教育について強調いただきたい。

●事務局

御指摘の件と併せて学校教育の文章全体を検討する。

●委員

「健康」について、1つ目と2つ目の○に記載されている内容が重複しており分かりにくい。「地域の主体的な健康づくり」とは何を想定しているのか。

「長寿・介護」の3つ目の○に「在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」と記載されているが、あえて「在宅」と記載する必要があるのか。

●事務局

「健康」について、1つ目の○は「市民の健康づくり」を、2つ目の○については、「保険制度」の内容を中心に記載している。「地域の主体的な健康づくり」については、各地域で高齢化率や地域資源等が異なることから、地域に応じた健康づくりの取組の支援を想定している。「健康」「長寿・介護」について表現を検討する。

●委員

「子ども・子育て・若者」について、「子どもの権利や生活が保障されるまちづくりを進めます」を冒頭に記載してはどうか。

●事務局

検討する。

●委員

「健康」については医療費の削減が目的ではなく幸せに繋がるという考え方が重要だと考える。

●委員

「学校教育」について、「学校教育の充実」の具体的な説明を追記してはどうか。

●事務局

検討する。

●委員

「子ども・子育て・若者」が「健康・安心」に位置付けられている理由は何か。また、全体を通して若者や子育ての環境に関する記載が薄いように感じる。

●事務局

『健康・安心』という名称は検討中のものであり、将来ビジョンとあわせて検討する。若者、子育て環境に関する記載については検討する。

●委員

「長寿・介護」について、今後、草津市は国が進めていく以上の在宅医療、在宅介護に関する施策を行っていくのか。

●事務局

国が進める施策を本市にどのように当てはめていくのか検討している段階であると認識している。

3. 閉会

●事務局

次回の審議会は3月30日（月）午後2時から開催予定。

●閉会にあたって、金森総合政策部副部長より挨拶